

電 設 新 聞

発行所
社福島県電設業協会
発行人 大槻賢彌
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設協会館)
TEL (024) 533-6226
FAX (024) 533-6235
編集印刷 南福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

TOSHIBA
明るく、
スリムで、
長寿命。

天竺輪シリーズ
東芝薄型照明器具
ネオスリムV
東芝ライテック株式会社
郡山営業所 TEL (024) 922-5511

技術者の資質向上を図る

平成17年度技術講習会開催

当協会は八月一日、郡山市のユラックス熱海で平成十七年度技術講習会を開催した。会員の技術力の底上げ等を目的に毎年開催しているもので、今回は会員企業の技術者と正副会長ら役員合わせて約二百二十名が参加し、県の営繕事業や設備工事の留意点、さらに建築構造体を利用した統合接地システムについて理解を深めた。

新技術の習得も
講義に先立ち、あいさつに立った大槻賢彌会長は「この技術講習会は今回で二十三回目を迎える。当初は、地元業者の技術に対する信頼が低く、分離発注もあまり実



大槻会長



本田主幹



紺野検査員



須藤氏

施されていなかった。このことよって、発注機関のため協会の先達が、会の信頼を得ようとした技術講習会をはじめたもの

で、回を重ねる毎に評価をいただき分離発注の実現につなげてきた歴史がある。今日の内容をしっかりと身につけていただきたい」と述べた。

午前の部では、県土木部建築領域営繕設備グループの本田信栄主幹が「福島県の営繕事業について」と題して講義を行った。最近大きな問題となっているアスベストの問題を取り上げ、近く県な

「福島県の営繕事業について」と題して講義を行った。最近大きな問題となっているアスベストの問題を取り上げ、近く県な



約220名が参集した17年度技術講習会

工程管理など説明

第20回工事施工体験発表会

当協会は六月二十日、郡山市のユラックス熱海で第二十回工事施工体験発表会を開催した。会員企業の現場代理人ら技術者、正副会長などの役員、県土木建築領域や出先事務所の電気設備技術者ら約二百名が参加した。

はじめに大槻賢彌会長が自ら第一回発表会で行った発表を振り返りながら、「会員企業の施工体験を聞くことで、技術のレベルアップを図りたい。今日の内容については、各社で再度確認して、技術向上につなげてほしい」とあいさつし

この後、発表に移り佐藤正樹氏(郡山支部・三友電設(株)管理課係長)が「国道一九四号黒森トンネル照明工事」をテーマに、工程管理や使用した材料による効果などを語り、小沢忠美氏(いわき支部・風電気工事(株)現場

より掲載。



発表内容を本号(五頁)より掲載。

労災防止対策を研修

協会初の安全大会を実施

技術講習会に引き続き午後三時半から初の安全大会を開催した。本県においては、今年

大会では、大槻会長があいさつで、「我々の仕事の中には高所作業も多く含まれており、油断や不注意による事故を根絶するよう努めなくてはならない。職場における最優先課題は安全だ」と労働

災害が及ぼす影響の大きさと企業の責任について語った後、郡山労働基準監督署の五十嵐健一署長を講師に迎え、「夏期における労働災害の防止について」講話を行った。

代理人が「屋根一体型太陽光発電設備工事」と題して仮称・田地区地域総合施設新築における施工上の留意点などを発表した。また小林力男氏(会津支部・株富士工業商會工事課長)は「県営住宅建設電源容量改修工事」と題し、リニューアル工事における工程管理と住民への対応を発表した。終了後、質疑と講評

進む中で普及が予想される建築構造体を利用した統合接地システムについて詳しく学んだ。

National

実照広告

※実際に、照明を点灯して実験しました。

虫を寄せにくい光の「ムシベール」

光に誘われて虫だらけの「一般照明器具」

人の目には自然な明るさのまま、虫が集まりやすい光の波長だけをカット。

専用カバーによって、虫が集まりやすい光の波長をギリギリの範囲(410nm以下)までカット。虫の飛来を大幅に低減します。

低誘虫照明器具 **ムシベール**

さらに侵入した虫はおびき寄せて捕獲。ムシベールと組み合わせることで、防虫効果がさらにアップします。

光誘引捕虫器 **ムシパットル**

虫を寄せにくくする。来た虫は捕獲する。

低誘虫照明システム **ムシベール** シリーズ

●商品に関するお問い合わせは、〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工(株)福島営業所 TEL.024-939-7731 まで。
National 松下電工、NAIS 松下電工は National ブランドに統一します。 松下電工

災害支援体制を協議

第三回総務委員会開く

今年度第三回総務委員会が七月四日に協会会議室で行われ、当面の行事などを検討した。

大槻会長、丸山・八巻・坂本副会長、それに大室委員長と各委員が出席した会議では、大槻会長が「地域社会との共生を重視する立場から、我々の持っている力を活用し、災害発生時に地域のボランティア活動に積極的に参加する。また、国や県はもとより、県内の各市町村と防災協定を結び、災害発生時には電設業協会全体で支援する体制を固めたい。実際には、協会内に防災本部を設置し、会長を本部長に、各支部長を地区担当の防災部長とし、本部・支部との連携を密にして対処する。この担当は総務委員会とし、総務委員長を責任者とする組織を台風シーズン前の八月中に編成し、防災訓練を実施する」という構想を説明した。会議ではこれを了承し、八月十五日までに防災組織及び連絡体制の整備と、応急対策業務の支援に関する協定書のモデルを作成して各支部に送付することとなった。



協会本部で開いた総務委員会

また、公共事業費の縮減が進み、受注量の確保が困難になっていることから、民間のファイナンサーを利用した事業を可能にする「CMを採用した地方版PFI事業の推進」を提案していくため、各支部からメンバーを募りプロジェクトチームを立ち上げることを決めた。勉強会を行うこととした。

このほか、福島労働局が重大災害の増加に伴う緊急要請を出したことを受けて、技術講習会(八月一日)の技術講習会終了後に協会としては初の安全大会を開催することを決めた。



第二回広報委員会

編集方針を協議

第二回広報委員会

今年度第二回広報委員会が六月二十一日に協会会議室で開かれた。

坂本幹夫副会長と梅澤利夫委員長並びに各委員が出席し、機関紙・電設新聞の編集方針を検討した。

会議では、新エネルギーと技術に代わる企画として支部事業等の紹介に力を入れることとした。

29日から説明会開始

アスベストの取り扱いで

アスベスト飛散が社会問題に発展している中、県と(社)建設業協会、当協会、(社)県空調衛生工事協会は八月二十九日から県内六箇所で「建築物の解体・改修に伴う石綿取り扱い説明会」を開催する。

プログラムは、建築物の解体・改修工事における石綿対策、建設リサイクル法、特定粉塵排出等作業の届出、塵石綿等の適正処理。受講料は無料だがテキスト代千円が必ず。

申込用紙は、県土木部建築領域のホームページからダウンロードが可能。申し込みは、FAXか郵送で(社)県空調衛生工事協会事務局まで(福島市五月町四二五、FAX 024-521-932)。

申し込みの締め切りは八月二十四日。定員になり次第、締めめる場合がある。

開催予定は次の通り。(開始時間は各会場とも午後一時半)

- ▽会津、南会津地域 8月29日、会津アピオス
- ▽いわき地域 9月2日、いわき建設会館
- ▽相双地域 9月7日、富岡町文化センター(富岡町大字本岡) 定員二百人
- ▽白河地域 9月9日、白河労働者総合福祉センター(白河市大字久田野) 定員九十人
- ▽郡山市安積町日出山 定員二百五十人

ペース(会津若松市インター西) 定員二百人

▽県北地域 8月31日、県建設センター(福島市五月町) 定員百七十人

田村市に要望

分離発注と地元活用

設備三団体が合同で実施

当協会と県設備設計事務所協会は、(社)県空調衛生工事業協会は、七月十一日に田村市に分離発注と地元業者の活用を要望した。

当日は、当協会から大槻賢彌会長、丸山不二雄副会長、壁谷沢忠夫郡山支部長、阿部俊一郎専務理事、設備設計事務所協

会から戸崎義博副会長と秋吉政則専務、空調衛生工事業協会からは有賀敬四郎会長、本多修二副会長、丹治和明専務理事が田村市役所を訪ねた。

富塚有暉市長をはじめ、塚原正産業建設部長らが応対し、三団体から要望説明を受けた。その

上で、社会資本整備に取り組む市の姿勢を説明するとともに、要望の趣旨について一定の理解を示した。

引き続き、(社)県空調衛生工事業協会と合同で社会福祉法人田村福祉会を訪ね、渡辺淳常務理事と渡辺剛志法人本部事務長に面会し、特別養護老人ホーム建設事業における分離発注の実施と地元業者の活用を要望した。

優勝は佐々木氏

第36回協会ゴルフ大会

当協会の第三十六回ゴルフ大会が六月八日に郡山ゴルフ倶楽部で開かれ、会員企業から四十五名が参加し、腕前を競いながら親睦を深めた。

優勝は佐々木学氏(光健電気)、準優勝は壁谷沢忠夫氏(株)エディソン、第三位には浜田和夫氏(クレハ電機)が入賞した。

また、支部対抗では郡山支部が一位となった。



優勝は佐々木氏

第36回協会ゴルフ大会

当協会の第三十六回ゴルフ大会が六月八日に郡山ゴルフ倶楽部で開かれ、会員企業から四十五名が参加し、腕前を競いながら親睦を深めた。

優勝は佐々木学氏(光健電気)、準優勝は壁谷沢忠夫氏(株)エディソン、第三位には浜田和夫氏(クレハ電機)が入賞した。

また、支部対抗では郡山支部が一位となった。

FA・OAのシステムプランナー

株式会社ニノテック

代表取締役社長 樽川次男

本社 〒963-8034 郡山市鳥二丁目44-2
Tel (024) 935-1700(代)

支店 仙台
営業所 いわき 福島 宇都宮
出張所 棚倉
事務所 東京

換気扇・照明器・空調機・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社

福島電材支店
福島冷住支店

TEL (024) 959-6060
FAX (024) 959-6066

ディーゼル発電機 ガスタービン
コージェネレーションシステム

東北ヤンマー株式会社

いわき支店

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四、一

TEL (024) 581-5811
FAX (024) 581-5888

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

営業所

河川	TEL (0248) 27-3385(代)
白河	TEL (0248) 72-7136(代)
西会	TEL (024) 952-5455(代)
南会	TEL (024) 923-3298(代)
北会	TEL (024) 939-3081(代)
津会	TEL (0242) 37-2660(代)
馬場	TEL (0244) 22-5105(代)
相馬	TEL (0244) 35-1234(代)
福島	TEL (024) 546-3700(代)
福島	TEL (024) 553-1181(代)
いわき	TEL (0246) 28-6111(代)
勿来	TEL (0246) 62-3122(代)

茨城県内・千葉県内・埼玉県内・栃木県内・新潟県内29カ所
住設建材営業所 6カ所

会員2社が受賞

平成17年度 県優良建設工事

独自の創意工夫を評価

平成十七年度県優良建設工事表彰式が、七月八日に福島市のウェディングエルティで行われ大槻賢彌会長らが出席した。優良工事を受賞した十二社の代表と県の関係者が出席した式では、佐藤栄佐久知事が「受賞工事は、いずれも技術の改善と環境への配慮に努められ、優れた出来型などが厳正な審査で評価された。私は、一人勝ち社会を容認するような施策を良しとはしない。共生の論理をこれからの社会の基本として、県民生活を支える社会資本の重要性を考えていく。そして七

つので生活圏の特長を生かすよう整備を進めたい。そのためには建設業は重要な役割を担っており、県土づくりの協力頂きたい」と式辞を述べた。

続いて松本友作農林水産部長と蛭田公雄土木部長が審査経過を報告した。農林水産部では、優良工事の対象となった二百一件の工事のうち、綿密な施工計画に基づき品質・出来型に優れ、環境対策や安全管理にも配慮した三十三件の内申を審査し八件を選定した。一方、土木部は九百八十七件の対象工事の中から内申のあった二十九件を審査し、厳しい施工条件にありながらも独自の創意工夫により、優秀な成果をあげた十二件を選定した。

佐藤知事から各受賞会社へ表彰状と記念の盾が授与された後、来賓として出席した渡辺敬夫県議

工業部が第二位、高柳電設工業部が第三位に入賞した。

この後、来賓祝辞が行われ、保坂篤福島労働局長は「今年に入ってから建設業の死者は前年に比べ倍増しており、労災防止の徹底が求められる。マネジメントシステムの導入とともに現場での指導力向上が課題だ。労災防止の重要性を認識され、安全衛生水準の向上に努められることを望む」と述べた。

第二部では、特別講演が行われ福島大学総合教育研究センターの五十嵐敦教授が、「いい関係」がつくる安全と健康」と題して、働く人のメンタルヘルスについて語った。



表彰を受ける大槻電設工業(上)と岩電機工業



会費が「県民生活に必要な社会資本は、県勢の発展基盤でもあり着実な整備が必要だ。皆さんが

技術の研鑽に取り組み、他の模範となる成績を上げられたことは心強

い。これを契機に地域社

会の発展にさらなる貢献をお願いしたい」と祝辞を述べた。

さらなる研鑽を

これに対して、受賞者代表の菊地大介氏(株)あおい組)が「県優良工事は権威ある賞であり、このたびの受賞は身に余る栄誉。今後ともご指導をいただきながら技術力の向上に努めることを誓う」と謝辞を述べた。

今年度の優良建設工事では、電気設備部門で二

社が選ばれ、技術力が高く評価された。

安全水準の向上を

第39回県建災防大会開く

建設業労働災害防止協会県支部は、七月二十九日に福島市のホテル辰巳屋で第三十九回県建設業労働災害防止大会を開催し、当協会から丸山不二雄・八巻正隆・坂本幹夫副会長らが出席した。

建設業関係者ら約二百名が参加した大会では、はじめに三瓶支部長があいさつに立ち「建災防の活動は、皆さんの協力により順調に推移している。安全活動の最終目的はゼロだが、当面は建設業の死亡災害を全産業の二割にとどめたい。ま

た、最近では石綿を原因とする健康被害が問題となっており、これに対しても積極的に対応していく。大会を契機に後戻りすることがないよう労働災害の防止に努め、従事者の職務を明確に定め

て危険の芽を摘んでいく」と出席者に呼びかけ

た。

続いて、建災防県支部長表彰、建災防本部長表彰の伝達が行われ、労働災害防止の功績のあった個人、事業場、優良工事を称えた。当協会関係では

県支部長表彰の功績賞に伊藤博氏(太陽電設)と熊田秋夫氏(立原電気工業)と佐藤守氏(泉電設)の三名。また、安全競争表彰の電気工事部門では、大槻電設工業(株)が優勝、いわき電気工業(株)が準優勝、大和電設



安全競争の表彰

比倍増しており、労災防止の徹底が求められる。マネジメントシステムの導入とともに現場での指導力向上が課題だ。労働災害防止の重要性を認識され、安全衛生水準の向上に努められることを望む」と述べた。

第二部では、特別講演が行われ福島大学総合教育研究センターの五十嵐敦教授が、「いい関係」がつくる安全と健康」と題して、働く人のメンタルヘルスについて語った。

寸評 本箇所は、特殊な警備工事の対して、詳細な打ち合わせの上作成した施工計画と安全管理計画に基づき施工された。特に防災複合盤や各種機器の配置収まりについて検討し、非常用通報装置ら特殊状態表示装置を一つにまとめ、端子盤に組み込むことで、各種情報を集中させ、職員が迅速に対応できるようにする等、供用開始後の維持管理や、使い勝手を考慮した施工を実施した。また、各所からの警報信号表示などについて他機関システムとの整合・調整を図りながら施工された。その結果、品質はもとより出来型、出来栄え

寸評 本箇所は、埠頭保安整備工事であり、計画通りの照度を確保するため、詳細な位置出しや角度など照度管理を徹底して行い、綿密な施工管理のもと施工された。また

寸評 本箇所は、埠頭保安整備工事であり、計画通りの照度を確保するため、詳細な位置出しや角度など照度管理を徹底して行い、綿密な施工管理のもと施工された。また

事務局の拡充を図る

循環型社会推進センターが通常総会を開く

NPO循環型社会推進センター(佐藤勝三理事長)は七月十五日、福島市の建設センターで第三十三回通常総会を開催した。

議事では平成十六年度の事業報告・決算、平成十七年度事業計画・予算を審議し、全て原案通り決定した。新年度事業としては、高齢者・障害者によさしい住環境の調査

・研究・相談事業など六項目の継続事業と国の平成十七年度全国都市再生モデル調査事業に採択された「少子高齢化が進む郊外型住宅団地における持続可能な地域社会構築へ向けた試行」(蓬萊団地)などに取り組む。

また、事務局体制の拡充を目的とした役員候補も選出され、県建設連の芳賀一英常務をNPOの理事に選んだ。

総会に引き続き講演会も行われた。

KOTTO
安全と快適を求めて

交通管制システム/道路気象観測システム
交通信号機/道路情報表示システム

小糸工業株式会社

東北支店 TEL.022-225-7501 FAX.022-267-5053

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ウム

株式会社山形電機製作所
福島営業所 所長 渡辺良邦

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101
TEL (024)546-1321 FAX (024)546-1322
支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工場/山形・北海道千歳

配分電盤メーカー

屋内外キュービクル・高低圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤

KATEX
電機事業部
加藤鉄工株式会社 (旧福陽電機製作所)
〒960-8001 福島市天神町10-41
TEL 024-534-1528(代) FAX 024-533-8590
本社/〒960-8201 福島市岡島字作田入1-2 福島工業団地
TEL 024-534-2111 FAX 024-533-7155

つづく未来につづけるエネルギー

◎自家用発電装置・CVCF発電装置
設計・販売・据付・保守点検・整備

◎コージェネレーションシステム
◎直流電源装置・バッテリー交換
◎負荷試験・保護継電器・絶縁耐圧試験

株式会社 機電エンジニアリング

〒963-8845 福島県郡山市名倉247番地の1
TEL 024-946-0094
FAX 024-946-1394
http://www.kiden21.com

安全と信頼

日本信号株式会社

■営業品目 ●交通信号製品 ●駐車場機器製品
●入退館システム

■東北支店
〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)
TEL(022)261-8371(代) FAX(022)225-4627

配電盤
制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎(024)934-0859
FAX(024)934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

県中建設から講師招き勉強会

当協会郡山支部と空衛協県南支部

初の合同技術講習会

主観点アップがテーマ

六月十五日に郡山労働福祉会館において、(社)空衛協県南支部と(社)空衛協郡山支部との合同勉強会を実施しました。県中建設事務所と電設業協会郡山支部が中心となり一年前から企画し、今年に入り空衛協県南支部も参加し、六月以降に開いた数回の合同勉強会を経て、今回の勉強会の運びになりました。

勉強会の目的は、各社の入札参加資格申請の総合点数をアップし、全員のランクをあげよとの思いから「総合点数には客観点主観点(工事成績等の採点)により構成されていることから、主観点とくにアップ

次に講義に入りました。内容と担当講師の方々は次の通りです。

①入札参加資格審査及び基準等について(佐々木孝男主幹兼建築住宅部長)

②建設業法遵守状況実態調査について(渡辺伸一主任電気技師)

③技術者の取り扱いについて(本名仁主任建築技師)

④平成十六年度県中建設事務所管内竣工検査指摘事項について(今泉和宏技師)

⑤工事成績評価について(桑山一雄主任主査)

活発な質疑応答行う

質疑の内容は次の通りです。

Q 配置技術者に関して、主任技術者と現場代理人を別々に設定した場合と、現場代理人を兼任した場合とは、工事成績評価点に何らかの差が出てきませんか。

A 工事成績採点の審査項目別運用表の基準で評価するので、差はありません。

Q 工事成績採点の際、施行状況項目の施工管理において、品質保証体制があることと、品質保証が、対象書類として、工場及びメーカー等の出荷証明書も含まれるのでしょうか。また、管材等のミルシート等も含まれるのでしょうか。

A 工場およびメーカー等の出荷証明書は共通仕様書の提出書類に含まれている。基本的に指定された書類が提出されていれば良い。なお、大規模工事などにおいて、各種書類を提出できる体制があれば、加算の判断材料となる場合も有り得る。

Q 高度技術・創意工夫・環境対策・社会性等、これらは加算のみですが、昨年度までの事例等を参考に聞かせたいだけですか。

A 土木工事での事例はあるが、建築・設備について特異なケースは無い。

部

廃項目において、廃プラスチック、紙屑等は設計書において、重さ表示(t)で記入される事が多く見られます。実際、マニフェストには容量(m³)で標記されている。換算値があれば教えてほしい。

A 次に挙げる換算値を参考にしてください

- ▽廃プラスチック0.1
- ▽0.3t/m³
- ▽木くず0.4
- ▽0.7t/m³
- ▽金属くず1.4
- ▽2.0t/m³
- ▽ガラス・陶器1.5
- ▽コンクリート廃材1.6
- ▽1.8t/m³

Q 工事費内訳書中の共通仮設費には、项目的に何が含まれているのでしょうか。また建築工事、電気設備工事、機械設備工事に共通する仮設費項目はあるのでしょうか。

A 標準共通仮設費には、「準備費」整地整理・その他の準備費、「仮設建物費」現場事務所(備品含む)・倉庫・下小屋・作業員施設等・イメージアップに要する費用

Q 「工事施設費」場内通信設備等の工事用施設・イメージアップに要する費用。その他積み上げ部分として「準備費」敷地測量・道路占用料・仮設用借地料、「仮設建物費」宿舍・イメージアップに要する費用(設計図書による)がある。

Q 「残材の電線類を引き取ります」という業者がありますが、大規模改造工事等で、電線類の廃棄物が出た場合、設計書には産廃処理に関する記載がなかった時に、引き取り業者を利用した場合の問題点としてはどのようなことがあるか(許可・処理方法等)。

A 設計図書に記載の無いものについては、有

価物として処理しても構わない。ただし、責任を明確にするために、引き渡しの書類を取り交わし、保存すること。

Q 機械の基礎は、コンクリート打設後十日以上経過すれば据え付けて良いとあるが、コンクリートの強度試験を行わずに機械を据え付けて良いと解釈してもよろしいのでしょうか(事前にコンクリート配合計画書を提出することが前提)。

A 基本的には良い。ただし、何らかの形で強度を計ることが好ましい。

Q 現場での安全対策については、建築工事と土木工事との関連工事の影響が大きいのですが、施工状況の安全対策については、書類と現場での採点の比率はどのようになっているのでしょうか。

A 工事成績採点の審査項目別運用表の基準で評価するので、差はありません。

Q 資料番号四「平成十六年度県中建設事務所管内竣工検査指摘事項一覧」において、「主事検査結果書を完成図に添付すること」とありますが、このことについて詳しく説明していただけますか。

A 改築工事において、非常用照明灯の建築主事確認に該当する工事を施工したため、その確認済証の写しを完成図に添付するように求めた指摘事項である。今後も

工事施工範囲に官公庁検査(建築確認審査期間、消防署等)が該当した場合は、竣工図書に検査済証の写しを添付するようお願いする。

研修の成果に期待

勉強会終了後に壁谷沢支部長が「今日受けました講義は大変参考になりました。以上各社の技術力・信用力を高めて、レベルアップを図って頂きたいと思っております。特に我々は評点を上げるのに苦慮しておりますが、今日の勉強会を契機に県中地区の主観点が上がることを期待しております」とあいさつし、閉会しました。

今回の勉強会は午後一時三十分から四時三十分までの内容の充実した講義であり、講師を引き受けていただきました佐々木主幹兼部長をはじめ県中建設事務所の皆様には、準備の段階から勉強会当日までご尽力いただきましたこと、紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

定期的に県の公共事業の発注時期でもあり、今回の勉強会の成果が現場に反映されれば幸いです。

発注者と施工者が一体となり、より質の高い公共物の施工を行い、発注者に「地元企業に発注して良かった」と言われるよう、さらに技術の研鑽に励む所存です。(郡山支部技術委員会・佐藤信夫)



あいさつする佐々木部長(上)と壁谷沢支部長



郡山労働福祉会館で開いた講習会

日頃の疑問を協議

Q 土工事の掘削・埋戻しにかかる単価が、現況に合っていないと思われ。設備工事のうち掘削・埋戻しを土木一式工事の単価で扱われると苦しい。

A 基本的に現況に則した単価設定を行っているが、事前に現地調査を徹底し、作業に合った容量の機種を使用するよう

Q 工事費内訳書中の共通仮設費には、项目的に何が含まれているのでしょうか。また建築工事、電気設備工事、機械設備工事に共通する仮設費項目はあるのでしょうか。

A 標準共通仮設費には、「準備費」整地整理・その他の準備費、「仮設建物費」現場事務所(備品含む)・倉庫・下小屋・作業員施設等・イメージアップに要する費用

Q 「工事施設費」場内通信設備等の工事用施設・イメージアップに要する費用。その他積み上げ部分として「準備費」敷地測量・道路占用料・仮設用借地料、「仮設建物費」宿舍・イメージアップに要する費用(設計図書による)がある。

Q 「残材の電線類を引き取ります」という業者がありますが、大規模改造工事等で、電線類の廃棄物が出た場合、設計書には産廃処理に関する記載がなかった時に、引き取り業者を利用した場合の問題点としてはどのようなことがあるか(許可・処理方法等)。

A 設計図書に記載の無いものについては、有

Q 機械の基礎は、コンクリート打設後十日以上経過すれば据え付けて良いとあるが、コンクリートの強度試験を行わずに機械を据え付けて良いと解釈してもよろしいのでしょうか(事前にコンクリート配合計画書を提出することが前提)。

A 基本的には良い。ただし、何らかの形で強度を計ることが好ましい。

Q 現場での安全対策については、建築工事と土木工事との関連工事の影響が大きいのですが、施工状況の安全対策については、書類と現場での採点の比率はどのようになっているのでしょうか。

A 工事成績採点の審査項目別運用表の基準で評価するので、差はありません。

Q 資料番号四「平成十六年度県中建設事務所管内竣工検査指摘事項一覧」において、「主事検査結果書を完成図に添付すること」とありますが、このことについて詳しく説明していただけますか。

A 改築工事において、非常用照明灯の建築主事確認に該当する工事を施工したため、その確認済証の写しを完成図に添付するように求めた指摘事項である。今後も

工事施工範囲に官公庁検査(建築確認審査期間、消防署等)が該当した場合は、竣工図書に検査済証の写しを添付するようお願いする。

研修の成果に期待

勉強会終了後に壁谷沢支部長が「今日受けました講義は大変参考になりました。以上各社の技術力・信用力を高めて、レベルアップを図って頂きたいと思っております。特に我々は評点を上げるのに苦慮しておりますが、今日の勉強会を契機に県中地区の主観点が上がることを期待しております」とあいさつし、閉会しました。

今回の勉強会は午後一時三十分から四時三十分までの内容の充実した講義であり、講師を引き受けていただきました佐々木主幹兼部長をはじめ県中建設事務所の皆様には、準備の段階から勉強会当日までご尽力いただきましたこと、紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

定期的に県の公共事業の発注時期でもあり、今回の勉強会の成果が現場に反映されれば幸いです。

発注者と施工者が一体となり、より質の高い公共物の施工を行い、発注者に「地元企業に発注して良かった」と言われるよう、さらに技術の研鑽に励む所存です。(郡山支部技術委員会・佐藤信夫)

協会の動き

本部行事のみ掲載

【6月】

- 3日・第1回正副会長・支部長会議(協会)
- ・第3回理事会・各委員会(協会)
- ・(株)県建築士会総会・表彰式・懇親会に会長が出席(福島市)
- 8日・第36回協会ゴルフ大会(郡山市)
- 9日・会長が三瓶家を弔問(郡山市)
- 10日・(株)県建築設計協会総会・創立50周年祝賀会に会長が出席(福島市)
- ・渡部敬夫県議会議長就任祝賀会(相談役)いわき市
- 12日・故三瓶良孝氏告別式に会長らが参列(郡山市)
- 14日・第24回県建築文化賞主催者及び後援団体合同会議に専務が出席(県庁)
- 16日・(株)福島配電総会懇親会に相談役が出席(福島市)
- 20日・第2回技術委員会(郡山市)
- ・第20回工事施工体験発表会(郡山市)
- 21日・第2回広報委員会(協会)
- ・6月度会計審査業務(協会)
- 26日・故坂本幹夫県議会議員告別式に坂本副会長が参列(いわき市)
- 28日・NPO循環型社会推進センター第2回役員会に相談役が出席(福島市)

【7月】

- 4日・第3回総務委員会(協会)
- 5日・東北ブロック電気工事・管工事施工管理技士会第1回役員会に八巻副会長が出席(仙台市)
- 6日・設備3団体活性化委員会に丸山副会長らが出席(協会)
- 8日・平成17年度県優良建設工事表彰式に会長が出席(福島市)
- ・(株)日本電設工業協会東北支部第2回常任委員会(仙台市)
- 11日・田村市長に設備工事の分離発注と地元業者活用を設備3団体の会長らが要望(田村市)
- 14日・フォーラム：東北は訴える～インフラ整備これでいいのか～に専務が出席(秋田市)
- 15日・NPO循環型社会推進センター総会に専務が出席
- 18日・故坂本博太郎元会長告別式に会長らが参列(いわき市)
- 19日・7月度会計審査業務(会長)
- ・県建設産業団体連合会正副会長座談会に会長が出席(福島市)
- 26日～27日・東北6電業協会役員懇談会に会長らが出席(宮城県)
- 27日・PFI事業推進委員会(協会)
- ・県通信情報設備協同組合総会懇親会に丸山副会長が出席(郡山市)
- 28日・東北ブロック電気工事・管工事施工管理技士会平成17年度定時総会に八巻副会長が出席(仙台市)
- 29日・(株)日本電設工業協会理事会に会長が出席(東京都)
- ・第39回県建災防大会に各副会長と専務が出席(福島市)

ご意見をお寄せください

社団法人 福島県電設業協会
 〒960-8114 福島市松浪町9-6
 TEL:024(533)6226 FAX:024(533)6235
 E-mail:fukudensethukyo@syd.odn.ne.jp
 http://www.fukudensethukyo.or.jp

国道294号黒森トンネル照明工事

第20回 工事施工体験発表会より

広域交流圏を形成



三友電設株 管理係長 佐藤 正 樹

はじめに

一般国道二九四号は、千葉県柏市を起点とし、関東地方中央を貫いて東北地方の福島県白河市、会津若松市に至る総延長約二二一キロの広域幹線道路であり、なかでも白河市～会津若松市間約六五キロは、中通りと会津両地域のアクセス強化に欠かせない重要路線である。

促進するものである。▽発注者＝福島県中建設事務所

▽工事名＝国道改築工事
▽工事場所＝国道二九四号(黒森トンネル)郡山市湖南町赤津地内
▽工期＝平成十五年四月一日～十二月六日
▽工事内容＝種別＝引込及び受配電設備工、照明設備工、トンネル部管路工

社内で施工検討会

不明な点を洗い出す

施工にあたって

工事担当者を選任されたときは、初めてのことであり本場に施工できるのか不安だった。社内で施工検討会を数回開催し、照明器具の設置位置寸法の割り出し要領、現場での墨出し作業要領など、不明な点を洗い出し、上司に質疑してその説明を受けたが、一向に施工要領(手順)的なものが浮かんでこないま

ま、現場に入り試行錯誤で工事を進めた。

◎照明器具の割付

起点・終点を基準に角度を計算して割り付けたが、CADの角度入力がかたがたで、四捨五入すると誤差が大きいため途中で断念し、起点・終点を基準に両端よりトンネル中心に鉛直に設計寸法を割り付けした結果、中心部での誤差が無視できる程度

の誤差が無視できる程度



黒森トンネル内部(基本照明)

(〇・〇四ミリ)であったので、この方法を採用。◎分岐付ケーブル分岐点割付

トンネル断面図にケーブルの布設位置を描き、トンネル中心部から支持金具取付点までの寸法を算出、これをトンネル平面図に布設ラインを描き、照明器具割付図の割付点との交点をケーブル分岐点とした。◎教育訓練の実施

本工事において、不適切(施工ミス)を防止するため、全作業員に対し、各作業施工前に教育訓練を実施し、作業手順、注意点を皆で共有しながら仕事を進めた。これにより不明点、別工法提案等の抽出ができ、また、作業手順、施工方法の改善を作業前に行うことができ、円滑に作業がはかどり、工程通りの工事進捗を達成することができた。(実施項目＝照明器具・ケーブル支持金具位置墨出し、照明器具取付金具の取り扱い、トンネル照明器具の取り扱いなど)

◎基本照明部照度測定

◎安全パトロール

◎安全大会の開催

◎施工管理値を設定

◎安全管理

◎安全訓練の実施

◎新材料の使用

員の高意識の高揚が図られ、無事故無災害で工事の完成をみたところである。

協会支部だより

福島支部 連携して研修

福島電気工事施工管理技士会は、福島支部の会員各社に在籍する電気工事施工管理技士八十四名(二十四社)で運営されています。

この技士会には福島支部の予算から補助が出されています。これは各事業主が自社社員や支部全体の技術力向上に期待するとともに、技士会そのものに期待を寄せている現れです。

このことを受けて、現在、支部内では技術委員会が窓口となり、技士会とともに活動し、さらなる技術力向上を目指しています。

本年度は、福島県との技術講習会を九月頃を目標に、技士会主導で行う計画で、開催にあたっては支部技術委員会が全面的に協力することとし、事業主の立場ではなく、実際に現場で直面する問題を当事者として課題設定し、有意義な講習会にしたいと両者で考えています。

十月には福島市との現場安全パトロール、現場研修を行う予定ですが、この際には技士会より参加者を募るなど全面的に協力してもらう予定です。

その他、支部技術委員会、技士会双方の行事、研修等については、お互

また、最近は大規模建設業者においても月二回の事業主パトロールが義務づけられているなど、安全に対してはトップがいかに関与し、事故を無くすかというところに重きが置かれています。

人が労働する目的は、労働力を提供してその代償を得ることにより、豊かな生活や幸福な人生を全うすることにあります。他方、労働力の提供を受けた事業主は、労働者の生命及び健康を危険から保護し、安全に労働させる義務があります。

今回、電設業協会において初めての安全大会が

相双支部 積算講習会を開催

当支部では、六月二十九日に設備設計積算講習会を開催した。支部会員企業はもとより、相双地区電気工事協同組合にも参加を呼びかけ四十名を超える参加者となった。

講師には、県設備設計事務所協会の木下会長、秋吉専務、小林技術委員長をお招きし、①設備設計事務所協会の取り組み方についての施工コードと市場単価について②積算資料とE.D.S.について③を研修しました。

木下会長より、設備設計事務所協会の活動と実際の設計作業についてお話し頂いたの続き、秋吉専務より同協会が作成した積算資料を使いながら複合単価の算出方法、施工コードの見方についての解説、最後に小林委員長からE.D.S.(積算見積もり作成システム)を

行われることになりましたが、その点を踏まえ、当支部でも多くのトップの出席を期待し、労働災害ゼロを目指していきたいと考えております。

(株)エディソン・壁谷沢 忠夫

また、最近は大規模建設業者においても月二回の事業主パトロールが義務づけられているなど、安全に対してはトップがいかに関与し、事故を無くすかというところに重きが置かれています。

人が労働する目的は、労働力を提供してその代償を得ることにより、豊かな生活や幸福な人生を全うすることにあります。他方、労働力の提供を受けた事業主は、労働者の生命及び健康を危険から保護し、安全に労働させる義務があります。

今回、電設業協会において初めての安全大会が

郡山支部 労災ゼロ目指す

全国安全週間も終わりましたが、ここ何年かの標語には「トップの決意」という言葉に表れているように、事業主の責任が問われています。

梅雨が明け、例年通り猛暑の夏になりそうですが、皆様は暑中お見舞いを申し上げます。

先日、支部長より協会活動の一環としてPFI推進事業の委員の選出について、支部より車田電気工業(株)の車田昭氏を選任しましたのでよろしくお願ひします。

さて、白河支部といたしましては、八月五日に電気工事施工管理技士会、管工事施工管理技士の三団体協賛による「県南方部建設設備意見交換会」を皮切りに、「道路ふれあい月間」運動の道

土木の藤谷一営繕課長が「社会動向とIT推進策について」、総務部の田中義光専門工務検査員が「平成十六年度工事検査について」、土木部営繕課の星野昌久設備係長より「風をとなえる風力発電について」のテーマで講演があり、参加者総勢約百名は暑い中にもかかわらず熱心に受講し研修を深めました。

さらに夕方からは、四家啓助いわき市長、高島信夫土木部長はじめ、関連部局の皆様をお招きして懇親会が行われ、お互いに絆を脱いだ有意義なひとときを過ごしました。(クレハ電機(株)・浜田和夫)

また、最近は大規模建設業者においても月二回の事業主パトロールが義務づけられているなど、安全に対してはトップがいかに関与し、事故を無くすかというところに重きが置かれています。

人が労働する目的は、労働力を提供してその代償を得ることにより、豊かな生活や幸福な人生を全うすることにあります。他方、労働力の提供を受けた事業主は、労働者の生命及び健康を危険から保護し、安全に労働させる義務があります。

今回、電設業協会において初めての安全大会が

白河支部 支部活動を決定

梅雨が明け、例年通り猛暑の夏になりそうですが、皆様は暑中お見舞いを申し上げます。

先日、支部長より協会活動の一環としてPFI推進事業の委員の選出について、支部より車田電気工業(株)の車田昭氏を選任しましたのでよろしくお願ひします。

さて、白河支部といたしましては、八月五日に電気工事施工管理技士会、管工事施工管理技士の三団体協賛による「県南方部建設設備意見交換会」を皮切りに、「道路ふれあい月間」運動の道

土木の藤谷一営繕課長が「社会動向とIT推進策について」、総務部の田中義光専門工務検査員が「平成十六年度工事検査について」、土木部営繕課の星野昌久設備係長より「風をとなえる風力発電について」のテーマで講演があり、参加者総勢約百名は暑い中にもかかわらず熱心に受講し研修を深めました。

さらに夕方からは、四家啓助いわき市長、高島信夫土木部長はじめ、関連部局の皆様をお招きして懇親会が行われ、お互いに絆を脱いだ有意義なひとときを過ごしました。(クレハ電機(株)・浜田和夫)

また、最近は大規模建設業者においても月二回の事業主パトロールが義務づけられているなど、安全に対してはトップがいかに関与し、事故を無くすかというところに重きが置かれています。

人が労働する目的は、労働力を提供してその代償を得ることにより、豊かな生活や幸福な人生を全うすることにあります。他方、労働力の提供を受けた事業主は、労働者の生命及び健康を危険から保護し、安全に労働させる義務があります。

今回、電設業協会において初めての安全大会が

いわき支部 技術研修会開く

当支部では、七月十三日にいわき地区電気工事協同組合並びにいわき電設業協会と共催で「いわき市建築電気設備技術研修会」を開催した。いわき市の土木部と総務部の幹部をお招きし、支部会員全十三社が参加した。

講師には、県設備設計事務所協会の木下会長、秋吉専務、小林技術委員長をお招きし、①設備設計事務所協会の取り組み方についての施工コードと市場単価について②積算資料とE.D.S.について③を研修しました。

木下会長より、設備設計事務所協会の活動と実際の設計作業についてお話し頂いたの続き、秋吉専務より同協会が作成した積算資料を使いながら複合単価の算出方法、施工コードの見方についての解説、最後に小林委員長からE.D.S.(積算見積もり作成システム)を

また、最近は大規模建設業者においても月二回の事業主パトロールが義務づけられているなど、安全に対してはトップがいかに関与し、事故を無くすかというところに重きが置かれています。

人が労働する目的は、労働力を提供してその代償を得ることにより、豊かな生活や幸福な人生を全うすることにあります。他方、労働力の提供を受けた事業主は、労働者の生命及び健康を危険から保護し、安全に労働させる義務があります。

今回、電設業協会において初めての安全大会が

編集後記

協会役員の改選に伴い、広報委員会も梅澤新委員長のもと、新体制でスタートいたしました。

ところで、この新聞を

紙面づくりには、いろいろ工夫をこらしているといふと、今後ともよろしくお願ひ致します。

紙面づくりには、いろいろ工夫をこらしているといふと、今後ともよろしくお願ひ致します。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人 東北電気保安協会

福島事業本部	福島市置賜町1-29	☎(024)528-9366
福島事業所	福島市泉字南谷地5-6	☎(024)557-2161
原町事業所	原町市上洪佐原田432-1	☎(0244)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町福川原1	☎(024)932-6054
白河事業所	白河市東三坂山2-47	☎(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間字洞42-1	☎(0246)36-1177
若松事業所	会津若松市北町大字上荒久田字北147	☎(0242)32-3350
田島事業所	南会津郡田島町大字田島字大坪490-1	☎(0241)62-4847
須賀川事業所	須賀川市大字西川字後田78-5	☎(0248)72-9120

電気技術総合コンサルタント！！

自家用電気施設のご相談、お気軽にご相談下さい。

社団法人 東北電気管理技術者協会

協会本部	仙台市青葉区花京院二丁目11-11プレジエザ仙台ビル	☎(022)261-6015
福島県支部	伊達郡川俣町飯坂字戸ノ内5-3	☎(024)566-3087
福島電気管理センター	安達郡安達町油井字漆原町42	☎(0243)22-2674
郡山電気管理センター	郡山市日和町字日向84-5	☎(024)958-5203
会津電気管理センター	河沼郡河東町大字谷沢字十文字53	☎(0242)75-2518
相双電気管理センター	原町市仲町一丁目157	☎(0244)22-2817
白河電気管理センター	西白河郡東村大字釜子字根柵山68-3	☎(0248)34-2205
いわき電気管理センター	いわき市平字堂ノ前18	☎(0246)21-9828

高効率、高演色、省エネのセララルクス！！

セラミックメタルハライドランプ **CERALUX**

70W・150W・250W・400W

岩崎電気株式会社 <http://www.iwasaki.co.jp/>

郡山営業所/〒963-8046 郡山市町東3丁目103番 TEL.024(961)2292

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13
TEL(022)783-8181

■福島営業所	福島市瀬上町字桜町3丁目12-3	☎(024)553-8551代
■郡山営業所	郡山市大槻町下町東2	☎(024)961-6667代
■いわき営業所	いわき市鹿島町御代大1-1	☎(0246)76-1055代
■原町営業所	原町市北原字本屋敷153	☎(0244)23-6106代
■相馬営業所	相馬市椎木字北原104-1	☎(0244)35-6350代

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北電材社

福島支店

福島営業所	TEL(024)553-4165
開発営業所	TEL(024)553-4165
相馬営業所	TEL(0244)36-8901
郡山営業所	TEL(024)934-3065
白河営業所	TEL(0248)21-0360
いわき営業所	TEL(0246)75-0700

情報社会をパフォーマンスする

(全国42営業所で奉仕する、電設機材&O.Aの総合商社)

TANAKA CO., LTD

田中商事株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井3-2-2
TEL(03)3765-5211(大代表)

◆首都圏第一営業部 ◆首都圏第二営業部 ◆首都圏第三営業部
◆首都圏第四営業部 ◆北海道営業部 ◆東海営業部

◆東北営業部

■仙台営業所	〒984-0821 宮城県仙台市若林区中倉3-18-30	☎(022)284-4421
■郡山営業所	〒963-0107 福島県郡山市安積町3-135	☎(024)945-1570
■八戸営業所	〒031-0801 青森県八戸市江陽2-8-12	☎(0178)44-4551